

活動分野	緑のおもしろ講座【柏】		
タイトル	樹の表情(樹相)を読む		
実施日時	2019年 5月26日(日) 10時~12時		
実施場所	柏市布施 あげぼの山農業公園		
受講者	21名	F I C会員他スタッフ	5名

活動の内容 樹肌に現れる表情を観察する

あげぼの山農業公園では、「遊んで学べる花の里、体感ファーマーズパーク」をテーマに、広い芝生、池、季節の花を楽しめる広場があります。今回の講座は樹肌に現れる色々の表情を、樹木の生理を理解して読み取る事が目的で、前半座学で勉強した事を、後半現場を歩きながら確認しました。

座学で樹木の構造、障害を受けて腐朽に至る仕組みとケヤキ、イチヨウ、クスノキ等それぞれに樹形の違い、固有美がある事を学びました。その固有美を維持する事が樹木が健全に生育する上で大切で、その基本となるのが剪定を含む管理です。

樹木は、生を受けた場所で何百年もの間生き続けています。暑さ、寒さ、風等の自然環境に耐えながら、その時々々の環境の変化を樹肌に刻み込み成長する、歴史・時間が貯金出来る生物だと思います。

生を受けた場所の条件が生育に適していれば良いのですが排水が悪い、地面が硬い、日が当たらない等の悪条件では我慢して生きなければなりません。

樹木は自分では動けませんので、与えられた周辺環境と調和し樹形を最適化しようとする変化は、その場で生き続ける工夫ではないでしょうか。又剪定等人為的な管理の誤りが樹木を傷つけ枯らしている例も多くあります。悪い自然環境、人為的な管理の誤りによるストレスが枝枯れ、腐朽、幹割れ等の表徴として樹肌に出てくるのです。

右写真はサクラですが相当弱っていて樹皮がボロボロで枯れた枝も多くあります。樹木達を見て枝枯れ、腐朽、虫害等の異常を見つけたら美しい樹形が保てるように手当をして下さい。

私達人間が容姿を気にするように、樹木にも美しく生きる権利(樹権)があると思います。

